

1/11 みんなでコロナ禍を乗り越えましょう！

皆さんからの温かいご支援ありがとうございます

グループホームまつおか（徳山区）を利用している方たちが、新型コロナウイルスワクチンの接種会場で使うぞうきんを寄付してくれました。

寄付されたぞうきんは100枚におよび、昨年の12月から1枚1枚丁寧に手縫いで作ってくれたものです。

同ホームを利用する女性は「ワクチン接種会場でアルコール消毒をするぞうきんが足りないと聞いた。困っている皆さんの力になりたい」と笑顔で力強く話しました。



「ぜひ使ってください」と利用者の皆さん

1/15 「語り」の世界にいざなわれて

「話楽座」が感謝の気持ちと日頃の練習の成果を語りで披露

中川根語り部の会「話楽座（澤井初美会長）」が主催した「第23回昔ばなし語り部まつり」が文化会館で行われました。

同会メンバー5人が川根地域に伝わる民話を情緒豊かに語ると、来場した約100人の観客は引き込まれるように聞き入っていました。

澤井会長は「語りを楽しみにしてくれている皆さんの存在が、私たちの大きな励み。コロナ禍で活動が制限されていますが、感謝の気持ちを忘れずに励みたい」と今後の活動への決意を新たにしました。



西村 かつ子 さん

感情を込めた「語り」を披露

受験生の頑張りを大鉄も応援 1/20

町内2中学校の3年生に高校受験を祈願して護摩木とすべらない砂寄贈

本格的な受験シーズンを前に、大井川鐵道株式会社は車両の安全確保のために使う「すべらない砂」と願いごとを記入する「護摩木」を町内2中学校の3年生にプレゼントしました。

生徒たちは、護摩木に受験に対する意気込みや高校生生活への展望などを思い思いに書き込んでいました。

中川根中学校の瀧澤愛莉さん（上長尾区）は「コロナ禍が早く収束するように願いを込めました。みんなが笑顔で過ごしていた日常に戻ってほしい」と話しました。



護摩木はSLの「かま」で燃やされ合格を祈願します

1月1日から副町長になりました！

あきもと しんや
秋元 伸哉 と申します！！

昨年12月の議会において選任のご同意をいただき、令和4年1月1日付で副町長に就任しました。このたび、藺田町長の補佐役としての職責を担うこととなり、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

もとより大変微力ではありますが、職員とともに、川根本町が持つ地域資源と自然環境を大切に守りながら、直面する課題にひとつひとつ対応し、町の発展のために全力で取り組んで参る所存でございます。

町民の皆さま、どうぞよろしくお願い申し上げます。



趣味はランニング！
休日は周辺を走ってます！

◆ プロフィール

1977（昭和52）年9月生まれ。
2000（平成12）年に静岡県庁入庁。
これまで、人事課、行政経営課などで勤務。
2児の父親。趣味はスポーツ観戦とランニング。

2/3 節分の意味学び、楽しく豆まき

町内の保育園で節分にちなんだ行事を開催

町内の保育園では、2月3日の「節分の日」に合わせて、園児がその風習を体験する行事が行われました。

三ツ星保育園では、園児たちが炒った香花の葉でなでてもらったり、ヒイラギの葉とイワシの頭を割り箸につけた「やいかがし」を各教室の入口に飾ったりしました。

その後、怒声をあげて鬼が登場すると、園児たちは大慌て。それでも一生懸命紙で作った豆をぶつけて撃退しました。

最後に、中田園長が福の神にふんしてお菓子をまくと、園児たちは大喜びで拾い集めていました。



中田園長に香花の葉で全身をなでてもらう園児たち

退散～！